



©映画「心の傷を癒すということ」製作委員会

誰も、ひとりぼっちにさせへん

阪神・淡路大震災時、被災者の心のケアに奔走し、志半ばで亡くなった実在の精神科医・安克昌氏の著書「心の傷を癒すということ 神戸…365日」を原案にしたNHKのドラマを再編集した劇場版。険しい道をとともに歩んだ妻との「夫婦の絆」、彼が寄り添い続けた人々との「心の絆」が描かれる――。

心の傷を癒すということ 劇場版

監督：安達もじり 出演：柄本佑 尾野真千子 116分



©2010NHK

それでも、行かなだめなんです。

震災から15年目の1月17日にNHKで放送されたドラマ。反響が大きく、未公開シーンを加え再編集を行い、映画として生まれ変わった。こどもの頃に震災を体験し、今は東京で暮らす勇治と美夏は、「追悼のつどい」の前日に神戸で偶然に知り合い、朝を迎えるまでの時間を共に過ごすことになる――。

その街の子ども 劇場版

監督：井上剛 出演：森山未來 佐藤江梨子 83分



©2017「キセキの葉書」製作委員会

母への思いを託した 5000枚の葉書

阪神・淡路大震災から半年。西宮市で暮らす美幸は脳性麻痺の娘の介護や育児に追われ、心のバランスを崩してしまふ。そんな中、大分で暮らす母が認知症とうつ病を同時に発症したことが判明する――。郷里の母のため、笑える絵葉書を毎日送り続けた児童文学作家・脇谷みどりさんの実話を感動の映画化。

キセキの葉書

監督：ジャッキー・ウー 出演：鈴木紗理奈 90分



©2020 Office Hassel

シヨパンを弾くためにあるような手だ――

ピアノを学んでいた高校生の凜子と鍵太郎。阪神・淡路大震災と局所性ジストニアという大きな試練が二人を襲う。葛藤し苦悩しながらも二人は「魂に響く音」を追い求める。実際に「左手のピアニスト」として活躍する演奏家たちに取材してシナリオが作られ、左手のピアノ曲で知られる近藤浩平による音楽が本編を彩る。

にしきたシヨパン

監督：竹本祥乃 出演：水田汐音 中村拳司 90分



©きょうざれん

2011年3月11日 障害者の状況と 支援者の活動を描く物語

東日本大震災による1万8千人を超える死者の中で、障がいのある人の死亡率が全住民の2倍だという事実を知る人は少ない。この映画は、当時を知る証言者たちへの取材に基づき、その知られざる実情を描き出す群像劇。実力俳優に加え、障がい当事者を出演者として起用した。

星に語りて ~Starry Sky~

脚本：山本おさむ 出演：要田慎子 螢雪次朗 115分



©Minato Studio 2025

みんなもろい 街も、家族も、わたしの心も

震災直後に生まれた在日韓国人3世の金子灯。在日の自覚は薄く、被災の記憶も無い。苦労を重ねてきた両親の話は遠いものに感じられ、孤独と苛立ちを募らせる。家を出てからも家族との確執は続き、灯は心身のバランスを崩してしまふが…。灯と家族、神戸の人々の、心の復興の物語。

神戸発！ 2025年1月17日公開！！

港に灯がともる

監督：安達もじり『心の傷を癒すということ』 出演：富田望生 119分



©2022映画「島守の塔」製作委員会

島守の塔

監督：五十嵐匠 出演：萩原聖人 村上淳 130分

命どろ宝、生き抜け！

太平洋戦争末期の沖縄。絶望の淵に立たされながらも「命こそ宝」と訴え、後世に希望を託した二人の人物。県民の命を守ろうとした沖縄県知事・島田勲(神戸市須磨区出身)と、職務を超えて県民を守るべく奔走した県警部長・荒井退造。戦況に翻弄されながらも県民のために心を砕き、その命を守ろうとした実在の二人の官僚を描く。



©2023「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」製作委員会

あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。

監督：成田洋一 出演：福原遥 水上恒司 127分

君のために生きたい。あなたと一緒に生きたい。高校生の百合は、進路をめぐって母とケンカになり、家を飛び出して近所の防空壕跡で一夜を過ごす。翌朝、目を覚ますとそこは1945年6月の日本だった。通りがかりの青年・彰に助けられ、軍の指定食堂を訪れた百合は、そこで彰と同じ隊の青年たちと出会う。彼らは特攻隊員で、間もなく命懸けで出撃する運命にあった。



©映画「あの日のオルガン」製作委員会

あの日のオルガン

監督：平松恵美子 出演：戸田恵梨香 大原櫻子 119分

53人の子どもの笑顔を守る。それが私たちの使命だった。品川の戸越保育所の保母たちは、園児たちを空襲から守るため疎開を決意し、埼玉へと向かう。親と離れた幼い子どもたちとの疎開は問題山積だが、若い保母たちは元気一杯に子どもたちを勇気づけていた。しかし1945年3月10日、東京が空襲される。疎開先にも戦争の影が迫っていた…。実話を元に描く感動作。



©「飛べ！ダコタ」製作委員会

飛べ！ダコタ

監督：油谷誠至 出演：比嘉愛未 窪田正孝 109分

憎しみと国境を越えた感動の実話。昭和21年1月、佐渡島にイギリス軍機「ダコタ」が不時着した。村民たちは半年前まで敵国だったイギリス軍人に対して複雑な感情を抱くが、「困った者を助けるのが佐渡人人間(もん)」という精神に従って、島に迎え入れることにした。今も地元民に語り伝えられる実話を元にした感動の戦後秘話。



©2013 株式会社ミュージズの里

アオギリにたくして

監督：中村柊斗 出演：原日出子 風見しんご 120分

「被爆アオギリ」に託した語り部の願い。広島平和記念公園にある被爆したアオギリの木の下でたくさんの人々に被爆体験を語り続けた故・沼田鈴子さんをモデルにした作品。原爆で片脚を失い婚約者にも戦死されるなど絶望の淵に何度も立たされながらも、平和の語り部として生きる決意を抱いていく姿を描いた感動作。彼女がアオギリにたくした思いとは…。



©この史代・双葉社/『この世界の片隅に』製作委員会

この世界の片隅に

原作：この史代 監督：片渕須直 声の出演：のん 126分

昭和20年、広島・呉。わたしはここで生きている。昭和19年、18歳で呉に嫁いできた“すず”は、戦争によって様々な物が欠乏する中、家族のために毎日工夫を凝らしていた。しかし戦争が進むにつれ日本海軍の拠点である呉は空襲の標的となり、すずの身近なものも次々と失われていく。それでもなお、前を向いて日々の暮らしを営み続けるすずだったが…。